

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－98）、MOX燃料加工施設（1－89）」

2. 日時：令和4年1月12日（水） 14時30分～15時45分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、中川上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、津金主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、藤原安全審査官、河原崎安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

専門検査部門

館内主任原子力専門検査官

日本原燃株式会社 須藤 専務執行役員 燃料製造副事業部長 他12名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ
グループマネージャー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門
原燃計画グループリーダー

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

九州電力株式会社 原子力発電本部 原子燃料サイクルグループ 副長

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更

の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 1 2 月 2 4 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和 4 年 1 月 6 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 4 年 1 月 7 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。
0:00:03	規制庁シミズですとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと、本日のヒアリング或いは2年12月24日に申請があった設工認申請について資料をもとに、
0:00:15	でも、ケース確認を行うものになりますと、本日の議題としては1月のメーカーに提出のあったスケジュール、ヒアリングスケジュールと今後のヒアリング進め方の資料、
0:00:28	と、あとは、同1月7日に提出なったSAの記載の整理の資料を予定していますと、それで規制庁側の出席者を紹介しますので、本庁側の出席者は
0:00:44	当コサクカワラサキ
0:00:48	後々専門検査部門から縦打ち、
0:00:52	あとウェブからは、疼痛がね、ナカガワ、
0:01:02	カミデ方法が市の武田タジリ
0:01:08	これ、
0:01:09	自腹高梨大橋シミズ以上になります。
0:01:13	それでは日本原燃のほうから出席者の紹介た議題の構成の説明をお願いします。
0:01:20	はい。日本原燃の藤野です。日本原燃側の出席者ですが、再処理から江村の長沢高橋エビナの東富士のシミズ。
0:01:33	MOXのほうから、赤松谷ロイシハラ笠毛というか、異常が日本原燃側の参加者とあります。
0:01:42	本日ですが、まず先日提出したヒアリングスケジュールについてご説明させていただき、そのあとですね、従来事故対処設備に対する設計方針その他上部への展開の方針について説明させていただきたいと思います。
0:01:57	それではですねヒアリングスケジュールのほうから御説明入りたいと思います。
0:02:04	カワイ、日本原燃西原でございます。今藤野がありました1月6日に提出をさせていただきましたスケジュールにつきましては、別途検討ことで、今後のヒアリングの進め方というスケジュールをつくったもとになる考え方というのを整理させていただいておりました。
0:02:23	これについて概略説明をその考え方のSsを説明させていただきたいと思います。ただこれ同じヒーター等で恐縮なんですけど非常にわかりづらいものになっておまして、ちょっとその辺を見ながら説明をさせていただきたいと思います。
0:02:43	まず資料として今後ヒアリングをさせていただきたいものというのは、大きくは
0:02:50	各条-0シリーズの資料のものというのと、設備選定に関わる共通09-別紙というものがあると思ってございます。共通赤苦情トラブルの資料と言っている

	ものにつきましてはまずやはりいろいろなものを多種多様にかバラバラと出してきましたが、まずはやはり
0:03:10	第1回の申請対象条文、これもまず骨格なり記載の仕方をちゃんと定めるといのが一番優先的だろうということで、まずそこにターゲット絞って進めさせていたきたいということでございます。その進め方につきましてはこのページに1杯ページで1ページ目にも、
0:03:30	一番から⑦番まで書いてございます。か流れとしてはまずちょっとここも考え方がよかったんですが、記載の形式であったり、基本設計方針としてどういう記載をするのか、添付書類での構成なり記載の仕方をどう展開していくのかというお作法的なものも含めたものにつきましては、
0:03:50	①、①番といってる外部衝撃、こちらでまずこれまで通り進めさせていただくということでございます。ただこの①番で、そういった形式的なものを進めてフィックスした後にはほかの条文に転換した場合ですなやはり
0:04:05	確認すべき事項があるにもかかわらず、時間だけが後ろに行ってしまうということで、これはこちら側のお願いにしかありませんが、ええと並行しなければ、いわゆる論点としてどういうものを確認するかというのが、この型式以外の方であるものについては個別の確認事項として、
0:04:23	並行してやらせていただきたいというのが起こればあまり番から⑦番の項目ででございます。
0:04:29	また、②番から⑦番をこれ並列で書いてあるのも本当ヘルツならないものも一緒にしてしましまして、今回も個別の項目でそれぞれ、ちゃんと確認すべき事項っていうのは明らかにした上で、ここ。
0:04:44	ヒアリングをさせていただきたいということでございます。ともながら①番でルールを決めてきた、形式的なものについては、そのあとちゃんと②番から⑦番どうにて随契展開をしていくということを前提に考えてございます。
0:04:59	これも大きなルール資料の第1回知事対象条文をまずちゃんとやっていこうということのやり方の方針的なものでございます。
0:05:08	次の日設備算定でございます。これ共通09一別紙ということで、今まで御説明をしてきましたが、ちょっと説明がうまくできてなかったものをオオオカと資料全体の構想に係るお示しができてなかったこと復旧こともありまして、
0:05:24	こちら教頭ゼロ金利前回お出ししたいの改正をして全体の検証作業としてのスキームであったりとかそれぞれ出てくる作成をします資料の繋がりといったもの、そういったものが本体側の資料にちゃんとお示しをした上で、
0:05:40	まずやはり骨格になります。系統図南東の色塗りによる使用表対象機器の抽出の作業プロセスというのを代表設備を用いてしっかりと説明をさせていただくということをやらせていただければと思っております。

0:05:55	この代表設備につきましては、再処理MOXそれぞれ今、21 ページと書いてございますがこのやり方につきましてはちょっと後ろのほうになってしましますが、ここで骨格申しますと、これはMOXをまずは検討でやらせていただく。
0:06:12	MOXのやった結果として反映すべき事項をちゃんと反映した上で次に最初のほう展開をしていくということでございます。
0:06:21	はい。すいません。説明が抜けてましたが各条 0 資料の①番のほうも同じでございますノックスで骨格を決めるところやらせていただいてそのあともう再処理のほうに見解をして最終の資料のご確認いただくということで、
0:06:38	展開をしていきたいというふうに考えてございます。
0:06:41	はい。核定数ゼロから資料の第 2 回申請対象条文以降も申請対象条文につきましてはこれまで共通であるK-別紙はエビデンスとして幾つかバラバラとですね並行して流していただいて、ヒアリングというのも設計をさせていただきましたような声あり。
0:07:01	第 1 回申請対象条文をしっかりやっていくということを優先して、第 2 回申請以降に対象条文のほうに提出につきましては一旦、一番上のものがある程度骨格ができるまで経営止めさせていただこうと思っております。当然ながら供給が別紙としての、ページエビデンスとしての位置付け、
0:07:21	そして資料提出する必要がありますのでこれは外部からの申請対象条文の 0℃の進捗を見ながら、いずれかがリビングレタス日付なり何なりをまた調整させていただいていただいた上で提出をしていこうということでございます。
0:07:36	これは大きな考え方でございます。
0:07:39	2 ページ目につきましてはそういう今性がないものがついてましてこれ本当は社内向けで整理したんですけど的に行くと思ってなかったのもので申し訳ないです。
0:07:47	3 ページ目でございますがそのどれが資料の国家値の中です。
0:07:53	先ほどありまして苦戦抗力の火災処理のかというところの整理をしたのが 3 ページでございます。
0:08:00	外部衝撃閉じ込め安全機能を有する施設といった各条文これらの上部につきましては基本的にMOXを先行して骨格を決めるという作業をやらせていただきたいということで、我々のお願いでございます。
0:08:14	もうこれMOX固化こう決めた後に最初に展開をしていくと。
0:08:19	(2)番と書いてあるものを、これは従前から再処理をメインでやってきたものを低かつ明らかに再処理ROの骨格と向こうが大きくてですねMOXばそれが確認できれば実験的にもあると確認できたというふうになるような今後空気でございます。
0:08:37	それを言ってしまうと(1)番と変わらないんですけどもそこは 10 全部やり方を踏襲した上で再処理上を主として資料を提出しヒアリングさせていただきます

	すボックスもらっ当時出した上で、事実確認としては、我々の説明としては違う部分を企画してちゃんと説明できると。
0:08:56	いうことをやらせていただくというのが、(2)番に入っている項目でございます。
0:09:02	(3)番のところにつきましては第1回の耐震性対象条文が再処理済みと言ってこの条文等々を書いてますのは一番上の落雷でございますがこれ落雷自体は当然のことにもあります項目としては、ただ
0:09:17	別紙資料の別紙4の添付書類としては、内部衝撃全体の部分をその他事象に入っているのが目途パターンです。落雷も個別添付書類として展開するのが最初のパターンでございましたその違いがあるので、抜き出して、(3)番にさせていただいてございます。
0:09:35	(3)番については、まとめが再処理で展開をして確認をさせていただくと、ただいま答弁(1)(2)類似するものがあればそういったものをかけながら、やらせていただくという形になるというふうに考えてございます。
0:09:52	そういったものの、スケジュール感を示すためのシーケンスの4ページ向けもでございます。
0:09:58	そのスケジュールを的なものを表にしたのが5ページでございます。
0:10:03	これにつきましては、例えばですが、
0:10:07	4ページのところで、一番上からの御見込むの四角で外部衝撃の竜巻その他竜巻が出た後に、14日に出て19日にヒアリング同日に外部火災火山という日付で設計してございます。
0:10:23	ほかのところも結構こう指摘設計にしておりますが、これはすみません、その時によるヒアリングのボリューム感であったりとかえというのもならその具体化その難しかったので、仮の設定としてこれを受けます。当然ながらヒアリング結果。
0:10:40	反映すべき事項があればそれに応じた日付を再度リリスクSKして設定をさせていただくということを前提に、申し訳ございませんが、仮置という形になりますが設定をさせていただいているということでございます。
0:10:55	はい。
0:10:57	これは全体のずれは資料の進め方の考え方でございます。
0:11:02	6ページ7ページが
0:11:06	092ページの、いろいろ無理であったり節理先見の部分になります。
0:11:12	これまでやってきました設備選定の説明非常に細かい部分で我々の説明資料のほうが悪くないということで、どこどこが火元受けるのかよくわからないということがございましたので、ちょっとひもづけも含めて、
0:11:29	ただご説明した通り、MOXの資料でまずは先頭を切らせていただいてそういった資料の構成であったりひもつきであったり、見方であったりということの補足も含めて資料パッケージにしてお出しをして、

0:11:44	要はヒアリングさせていただくということでやらせていただければと思ってございます。当然設備設計のメインは再処理であるということは考えながらもうちょっとどことやってやっていくかの手段として、まずはMOXからということでお願いをしたいというふうに考えてございます。
0:12:02	資料としては人Aと5ページ6ページにも書いてございますがMOXのところに書いてます共通09の本資料は本部の方の修正と、あとは液体廃棄物の廃棄設備の中の低レベル愛称ちょっとBの広がりも含めたパッケージの話を
0:12:19	11日昨日の資料提出させていただいてございます。
0:12:23	この後、明日ですね、火災防護設備の窒素消火設備5N力応答図による集票対象設備の抽出の資料を出させていただきます。
0:12:35	これをセットにして、いわゆるリングをさせていただきたいと思ってございます。予定として今20日を希望してございます。それを踏まえたときな7ページ目の日スケジュールがですね、マイカーローンじゃないかと言われそうなんですけど20日に参画があって24日に四角が入ってます。
0:12:53	明らかに反映できないじゃないかというコメントがあってもいいということなんですけど、これもすみません、設計としては仮置きをさせていただいたように近いのです条件としては赤丸ヒアリングのコメントがすべて反映をして再処理側の資料は出していただくということを前提に考えてございます。
0:13:10	また、資料として皆ヒアリングの対応するために代表設備だけを書いてますが、代表設備以外にもまた設計の中のものとは別として、今の利益をと図が現時点である部分についてはすべて
0:13:25	この後、別で提出をさせていただくということで、また日ヒアリングする資料の提出スケジュールをこのスケジュールに落とし込んでいくという作業も液体廃棄物内のヒアリングの状況を踏まえながら設定をさせていただいて明らかにさせていただきますというふうに考えてございます。
0:13:44	スケジュールに対する説明は以上になります。
0:13:49	規制庁、
0:13:51	今の説明について規制庁側から確認事項がございましたらお願いします。
0:14:04	規制庁の川です。
0:14:06	まず私のほうから、
0:14:10	何点か確認したいと思います。
0:14:13	この資料自体ですね事前にいただいてみてですね。それで、
0:14:18	いろいろ今口頭でお聞きになっていただいたところなので、少少理解は進みましたがこの資料見ただけではやはり
0:14:28	後戻りが生じるのではないかと懸念が結構あってですね、先ほどの口頭説明である程度そこは、
0:14:37	問題も解消したんですが、

0:14:42	先ほどご説明いただいたところっていうと、資料で言うと、4 ページになりますかね。
0:14:51	ここでまず見てですね
0:14:54	やはりそのえっと類似のもので例えば一番上で言えばその外部衝撃によるそのその他竜巻が 19 日にヒアリングをして、
0:15:08	なおかつ、その下の外部火山外部火災火山、これが 1 月 19 日に資料提出ということで、
0:15:16	こういったものがですね、コメントが相対的に言えばですねそのあるヒアリングをして
0:15:24	コメントが出た場合にそうコメントがちゃんと反映したものがその次に繋がるような形で資料提示されるのかどうか、そういうところは結構ですなんでも見受けられて、本当に大丈夫なのかということかと感想としてありました。
0:15:41	先ほど形式的なものを多分内容はですねその形式的なチェック等中身的なチェックという多分二つの観点があつてですね、形式的なものについては、
0:15:57	多少重なるけれどそこは、
0:16:01	ある程度口頭で補えるような形で進めるという理解かと思いますがこれも程度かなと思ってですねその
0:16:11	形式というのがは何かというところで、募つ例えば構成とかですねそういうものがカラット変わるようなものであれば、
0:16:19	もちろんオオオカ後に続くものもですね、かなり大幅な変更があるということで、少し期間をおいてですね。
0:16:28	パーツと少し再構築して提出するというような配慮があるのかと思うんですがそこら辺がちょっとよくわからない。
0:16:38	ということなんですけどそこはだから内容に応じて工事後段のものについても、
0:16:45	少し内容見直して資料提出をずらすとか、そういう理解でよろしかったでしょうか。
0:16:52	変えよう現象でございます。今ご指摘の件につきましてはおっしゃっていただいた通りで内容に応じていないと思いますがどのぐらい期間をとるかということのも、今の時点で設定が難しいところもありますんで、仮置きをさせていただいてございます静的に答弁のコメントがあればそのコメントを反映して、次の第 2 弾のものになる場合は、
0:17:12	資料を提出するというのは当然我々としてやらせていただきたいと思っておりますので、その時点で日付順を設計をし直すということを考えたいと思っております。以上です。
0:17:23	はい、規制庁中です。そこで先ほど説明もありましたのでまあそういうことかと思うしますし、今実際やってみてということにはなるとは思いますが、
0:17:32	何となくこれまでだとですね。そういうことが起こりつつ、ただ資料はそのスケジュールはもう決めてしまったのでとりあえず資料提出みたいところを一部

	あったのでそういうところは今後注意をしてですね、できればだからその前例となる最初のヒアリングが終わってある程度コメントが、
0:17:52	多いようであればですね、その段階で後々続くものについてはその当日のそのコメント踏まえて少しずつとかですねそういう方向性も踏まえてですね。
0:18:04	説明いただくことかと思しますのでよろしく申し上げます。
0:18:09	はい、日本原燃イシハラでございます。号車機会だと思しますので、ヒアリングのときですね、コメントの確認、あとは、それに対する対応方針であり、正の説明する際に、近畿の資料に対しての影響っていうのも踏まえた上でそのスケジュールをどうするのかということも含めて御説明をさせていただくようにしたいと思います。
0:18:31	はい、規制庁ながらですねこのページで今外部事象の中の話ですけど例えば外部事象、それから、ほかに閉じ込め機能とかですね、または火災とか遮へいとか溢水量こう並列にあるところの関係が、
0:18:48	よくわからなかったというところがあって、さっきの説明であれば、
0:18:54	形式的なものの外部事象で固めつつそのアップに
0:19:02	他の条文やりつつというつつも、例えばじゃ閉じ込めとかですね遮へいとかこういうものを
0:19:10	今週末にヒアリングを控えているかと思うんですが、こういうものをじゃあどうするのかっていうのは、それはあれですかね。別に外務省終わってということではなくって、そこはそこであまり形式的な羽はないから内容としてはいろいろ論点があるものを早目に
0:19:29	それはそれとして固めたいというふうな過疎そういうことをを進めるということでしょうかそこら辺の考えがちょっとこのペーパーでよくわからなかったんですか。はい、米津西原でございますが今ご指摘いただいた通りでございます先ほどご説明の中でも、
0:19:44	いしましたがこれは我々として並行してなるべくできるものということで、何ができるんだというところで個別で確認しましていただきたい事項があるものについては、PRAの形式と大きなものが外部衝撃側で決めたのが900かけなきゃいけないのは前提でありながらも、
0:20:02	そこはちゃんと認識した上で、同じ条文の別紙シリーズ。いわゆる
0:20:08	各条例出る資料ではこういう観点をご確認いただきたいなという懸念をちゃんと明確にして、それでへのヒアリング望むということが前提だというふうに考えてございます。それ形で、並行で確認を淳二してさせてきていただきたいというのが、このスケジュールの前提でございます。
0:20:27	例えばですけど、第1回申請の閉じ込めないと閉じ込めにつきましては前回すでに日で、

0:20:34	年末ですかねヒアリングさせていただいて、これについては、許可の中での整理というのもある程度できた上でそれを基本設計方針見解をするという部分というよりは、第1回目の申請範囲ATアウト以後どういう配備するのかという部分がまだ
0:20:50	宿題として残ってございましてそういったものの宿題の回答であった横我々の考え方というのを御説明をさせていただくというのがこの滞留場閉じ込めるはMOXの版では必要なことかなと思ってます。そういったことをちゃんと明らかにして、
0:21:05	ヒアリングに展開をさせていただくと御説明をさせていただくということが条件かと思ってございます。以上です。
0:21:14	はい、規制庁の川です。大体考えれば、理解しました。
0:21:20	それから続いてですけどあと5ページ目なんですけれど。
0:21:26	はい。
0:21:27	後これ具体化したものというところで理解はしてますが、あとは、この、ちょっと吹き出しの意味がよくわからなかったんですけど左上の
0:21:39	この段階は、
0:21:40	使用表の記載については、これは
0:21:44	すいません、これは私が説明するときはどう言わなきゃいけないってこれすいません引き出しを付け場所間違えてまして、これは
0:21:53	最初に阿久津根井26日に最初の竜巻とか外部火災側に入らないといけない吹き出してきた木製骨格は当然あるんですが最初のほうで残っているのがええと冷却塔とかの、要は集票との約束事項であったり基本設計方針の本文約束事項っていうのを、
0:22:12	どういうことにするのかという整理がまだ残ってますので、そういったことも観点をちゃんとやんなきゃいけないんだということを書きたかったんですけどその辺がすいません。吹き出しをつける場所それは間違ってたので大変申し訳ございませんでした。
0:22:26	はい。
0:22:27	そうですね。ちょっとどういうところが不適切なのかよくわからないところがあったんですが、
0:22:33	で、多分使用表の話で言えばですねむしろば共通
0:22:38	的な話として
0:22:41	なんかをもちょうでそこは議論する話なのかなと思っていてですね個別ごとにやるっていうのもあるのかもしれないんですけど、必要に応じてそこは共通事項での収集の書き方は他にも外部火災とかいろいろですね、論点があったかと思しますのでそういうのを個別で。

0:22:57	やるというのもあるかと思いますが必要に応じて共通に立ち戻ってですねそこは議論できるように、スケジュール上そこはあまりその集票というのは明確に
0:23:08	どこでやるのかっていうところは見えなかったところがあるのでそこがわかるように、今後応募してスケジュールを提示いただければと思います。
0:23:18	会にギリシャでございます。承知いたしました。
0:23:21	あとはこのページの右、右のこの吹出しも書かなかったんですけど、こここれ再処理のこと言ってるんですかねとか、
0:23:32	よく 42 億円自社でございますはい。だと思えますと言ったら駄目ですから、そうでございます。はい。
0:23:40	過温
0:23:41	これは
0:23:43	搭載処理についてはってそうそういうことですね、多分会にギリシャでございますということでございますすみませんしょうがなくして申し訳ございません。再処理の 36 条ですね、木製予算十条重大事故たい設備の話。
0:23:59	あとは遮へいですね、これについては、第 2 グループの条文にありますので、そのまあ、先ほどありました第 1 回の条文をまずちゃんとやるんだということからしますとか MOX のやつを受けた上で 10 時まとめて第 2 回グループ以降のやつを出すタイミングを決めますんで。
0:24:18	その時にさせていただくということで整理をさせていただきたいと思っております。以上です。
0:24:25	はい、規制庁高です。わかりました。あと、このページの最後ですけど、一番下にその溢水と化学薬品というのは 18 日資料提示で 25 ということで、
0:24:36	結構溢水と化学薬品テーマそれぞれ内容的にはいろいろとまだ確認してないところもあるんですが、形式ねっ的なところ結構今まで
0:24:45	出ているものがすべてですね後段クラックこうコメント反映し切れてないものが毎回ですってですねそれが結局やる必要ないですねってずっと繋がってるような感じなんですけどこれをこれで何かは例えば火災とかそういうものに先行してやるようなスケジュールになってますけどそこら辺は大丈夫でしょうか。
0:25:08	はい、日本原燃西原でございます。当然そこも含めて確認をさせて、うちの中で当然確認をして 18 日でお出しするときには、ちょっと火災ともひっくり返見比べたときに同じようなコメントならないような整理部使う上で提出をさせていただこうと思っております。
0:25:27	歳未満に出してますのは単純です、今ナカガワ再掲いただいた通りで、あまりまともな事実確認のフェーズに至ってないのが状況今の状況でございます、そういったことも含めて、なるべく、この前の方ということで今設定をさせていただきます。

0:25:46	また条件はそういった今御指摘があったようなまだ無駄シナリオなことがないようにちゃんと資料を作って渡しをすると、当然そういった資料になったことを前提にスケジュール感について若干遠くへみあった上でやらせていただくというのが前提でございます。以上です。
0:26:03	はい、規制庁中です。了解しました。そこは適宜、そういった配慮でしていただければと思います。それからあとは6ページ以降の設備抽出についてこれもですね、日
0:26:19	懸念はだから、
0:26:23	ある種、代表的なもので議論したものが次に展開できるのかどうかということで、
0:26:30	先ほどそのボックスとあとは最終了解設備との関係ということで、口頭で補足いただいたんですね、あそこは。
0:26:38	また何かそのオオオカのコメント反映できるようなですね、形でそのスケジュールを見直すということですのであまりコメントはしないですがそういうところですね、こうこここの場に出す前にですね。
0:26:53	事前にそういうことも含めてですね、この資料自体もチェックしていただいて提示いただきたかったということです。
0:27:02	あとは、代表以外は我々としてもいろいろこういうものをもう少し確認したいというふうですね。
0:27:09	以前から提示しているところでもありますのでこの資料だけ見るとですね代表設備しかやらないのか見えるので、
0:27:16	それはまずは代表設備をやってそれを踏まえてほかあまり軽水炉CRというふうに理解しましたが所そういう理解でよろしいでしょうか。
0:27:26	はい、日本原燃2社でございます。その通りでございます。
0:27:30	わかりました。
0:27:32	あとはですね、最高ですが8ページ目のですね。
0:27:41	これは補足説明資料に関するものということで、
0:27:47	ちょっと気になったのはですね一番最後の行で個別修正補足説明資料についてはということで、
0:27:56	し、ヒアリングをまた資料提出と同時に資料提出するということですね。
0:28:01	多分従前少しこちらから言っていたのは補足説明資料なりっていうのはある程度できたものですね、こうさっさとヒアリングやるやらないは別にしてですね結構量とか多いものに経産省とかそういうものもあるので、そういうものは
0:28:17	提示できるものは早目に提示してくださいという、
0:28:20	ことを言っていたかと思ってですね、何となく
0:28:25	最後の最後にいたしますみたいにかう見えたんですけど、必要なものにできたものについて、とりあえずこれまで見ていないものはどんどん出していただくというような理解でよろしいでしょうか。

0:28:39	はい、日本原電シェアでございます。すいません今会計のが何度か御確認をいただいている補足説明資料前提にと書いてしまっているところがありますので前回個別の外部衝撃に完成目途の個別補足説明資料にいまだに、今、
0:28:55	それまで出したことはなかったものを目指しますと言って出させていただきました安全系、おっしゃる通りで出してないものはもう早く出すということが前提でございます。そういったものを受優先的に出させていただくということを前提に、ただ何度かやらせていただいているものがどちらかといっただんだん
0:29:14	00 シリーズの添付書類でカックと。
0:29:17	各記載事項との関係という整理というのも確認しなきゃいけないフェーズになってるものにつまましてはやはりいろいろ資料の別紙 4 の展開の仕方記載内容とのリンクというのもあるので、そういったものについては今、この下にかいたような関係で整理をさせていただければということでございました。以上です。
0:29:38	はい、規制庁赤です。はい考えはわかりました。とりあえず私からは以上ですがここでもですね結局そのある程度今言って考え方みたいなのがですね少し講師に入れば 1000 技協ヒアリングで聞く必要もなかったのかなと思いつつばちょっと。
0:29:56	資料を見ただけでわからなかったということもありますし、いろいろ話をして少しまだ
0:30:02	なんか本当に出すべき資料だったかどうかとかですね少し間違いがあるとかそういうのもあったのでそこは少し提示する前にですね社内チェックいただくようお願いできればと思います。以上です。
0:30:17	あと負荷の方から御質問あればお願いします。
0:30:22	影響タジリ率ナカガワの発言にかぶるので 2 点ばかりコメントに近いものですが、大きく言って今開いてる補足のページに関して言うといこと話出たようにお届けの中にあるものに関してはぜひ出してくるという話をされていて、担当ベースで聞いている限りやった方すべて気相の
0:30:40	出てきそうだというふう聞いてるよねとなかなかスケジュールに入らなかったりするので、大体毎日更新すると言わないですけど、できるだけ速やかに移行していただければというのが 1 点等、
0:30:51	あと予定について仮置きというのを何度か言われたかと思うんですけど振り返りを拒否するつもりもないんですけど。
0:30:57	の話は現実的に予定を組んでいっかないと、結局スケジュール化のみの予備というふうになってくると変わらないことになると思っていますので、特に 09 関連に関して言うと、要は 1 回終わった次すぐ次の最初に行きますっていうのは仮置きしても幾らでも現実的じゃないかなっていうところもあるような気がするもので、そういった点も踏まえた上でスケジュールを検討いただければと思います。以上です。

0:31:20	はい。いうギリシャでございますはい、
0:31:23	そうですね。はい。今までの過ちを何度か繰り返していただきますので現実的なという、我々は作業部隊での作業のスケジュールっていうのも考えた上で、スケジュールに反映させていただくことでやっていきたいと思えます。
0:31:39	あと約束をしていた鉦物の補足説明資料ですと言ったものがスケジュールについていません。はいできてなくてこれ消してますできるわけではございませんで、その外部火災イシハラ関係のやつにつきましては今週の金曜日を目標に今準備をしてございます。
0:31:57	もともとと合併等の話をして若干遅れてますが、14 日に出すトピック今作業をしてございます。
0:32:05	あとはすいません説明する際に言わないといけないのに、また、全体の考え方を優先してしまいまして、
0:32:15	航空機と落雷の再処理の資料がです 4 ページと 5 ページの資料でいきますと 12 日に資料提出の予定になってございます。すいません社内の AB でコメントをやってましたその IS 作業を考えますと、
0:32:31	大変申し訳ございません。朝礼簿価に完全になっているんですけど、14 日の金曜日にスケジュール的には資料系させていただくことで進めさせていただきたいというふうに考えてございます。以上です。
0:32:47	タジリです。適宜反映してくださいっていうのはスケジュールの話とあとスケジュール引き当てることはあるとは思ってんですけど、日にちがずれて 1 日にどんどん資料提出の資料が増えたり域にヒアリングの個数がどんどん増えたりすると、それはまた 1 週間で本当にヒアリングができるのかっていうのは、
0:33:04	原燃としてもそれなりに検討いただいた上でこちらも見れるものに関しては見るんですけど、例えば域に前なんか事故とか非固定しますっていうような、現実的でないものが前へスケジュールで漏れたこともあったと思うので、本当にできるのかっていうのは検討しながらスケジュール提出いただければと思います。自分からは以上です。
0:33:22	はい。
0:33:23	はい、弓削西原でございます承知いたしました当然ながら検討中出すときにはほかの資料との関係も含めてスケジュールリングしていきたいと思えます。以上です。
0:33:39	電気が示すが規制庁側からスケジュールに関して確認事項でございますでしょうか。
0:33:52	成長示す等ないようにしたら原燃側からも特に確認事項なければ次の資料に移りたいと思えますが、原燃よろしいでしょうか。
0:34:02	はい、日本原燃者でございますはい、次の資料に移らせていただければと思います。
0:34:08	規制庁清水です。了解しましたのでそれでは次の鉄塔で性の

0:34:16	規制委員の整理資料に移りたいと思いますので原燃から説明のほうをお願いします。
0:34:22	はい、日本原燃者でございます。タイトルが重大事故と耐設備設計方針括弧設計要求事項の他条文上の設計を証券化方針ということで会計版ということで1月7日にペースをさせていただいたものでございます。
0:34:37	この資料につきましては昨年12月16日に資料を提出して24日にヒアリングしたものでございまして、その時のご指摘事項を踏まえて我々に考えた結果として、海水の修正をいたしました。
0:34:52	が、すいませんから液位の何とかにぎわいじゃないですけども、ページが幾つかあるんですが、中身的にはですね、1ページから2ページが本ばりでございまして、
0:35:04	内容的には重大事故対象設備のがあるし、蒸気なりの設計方針に対して、従前、基本設計方針で外部衝撃側に荷重条件等の評価を渡してですね、外の
0:35:22	それで、関係を作った上でそれでは流していくという説明をさせていただきました。いえ、前回の指摘としてはそういった限定的なものを低かつ重大事故対処設備というのをちゃんと部会の中で、本部も店舗も
0:35:37	外的事象内的事象に対する設計上の防護設計方針というちゃんと会計るので、そういった展開を十分整理ができるんじゃないのかということの御指摘も受けましたので全体見渡した上で結局13ページになりますが、
0:35:54	もうすいません書くことちゃんと書いてなくて恐縮でございますが、基本設計方針の整理をどうしたのかというのが1点でございます。
0:36:02	基本設計方針につきましては重大事故等対処設備の影響過温分添付書類で展開をしている。設計方針につきましては、とどまら重大事故舞台設備の基本設計方針でちゃんと展開をするということでございます。
0:36:20	その中で一部、許可の中でも、重大事故対処設備に関する地震であったり、津波でやっぱり火災についてはそれぞれの設計方針のほうに展開をしますよと言ってる部分は同じような展開をさせていただきます。従前の前回のヒアリングで会うか条件等については外部衝撃に降るんだという説明をさせていただきましたが、
0:36:41	許可の中身を見ますと、やはりそういったものに対しても重大事故対象設備の許可の本文の中でもしっかりと対応設計方針が方が見えますので、その設計方針をちゃんと基本設計方針に記載をして展開することで、
0:36:57	犬べきことを本部設置以降に本文の基本設計方針としてお約束する事項については十分展開ができて対応ができるということを考えまして、重大事故たい設備以外の基本設計方針のほうでしっかりと会計行くということを
0:37:13	整理をしましたということで外部衝撃がには降らない溢水も振らないということで整理をさせていただくということでございます。それが書き方非常に悪いです

	けど 13 ページ目の図の基本設計方針の重大事故体制的にどこに下に吹き出しがついてるものの考え方でございます。
0:37:33	統合の重大事故対策設備の基本設計方針で書いたものは 5-1-1-4 / これ目次の番号になってますけど、健全性の説明書の中で展開をさせていただきます。
0:37:45	ということでございます。このもう一つの観点がこの添付書類の健全性説明書の中で展開する仕方でございます整理の仕方が上
0:37:56	14 ページ以降にずらずだと幾つかのケースを書いた上で、24 ページに結果が書いてありますが、言ってみれば
0:38:07	強度計算など更新うたって強度計算をするといったものについては、竜巻なり火山なりの、そういった強度計算の方針の添付書類に重大事故対処設備の健全性説明書から展開をすると。
0:38:23	ということで、添付書類同士で銀行はるという形で整理をさせていただくというのが、ぜひ検討した結果の結論でございます。
0:38:33	これは今の時点ではこのバルブの契約書に展開することで書いてますがこれまだ 1 棟の中でも議論をしまして、どこの添付書類竜巻が竜巻の一番頭の添付書インフルっていうのもありではないかという話もありましてちょっとどこの添付書類に展開するかは、
0:38:50	ちゃんと検討した上で、14 日にお出しをするときにはそれぞれのMOXのほうでも展開の仕方でも結論を説明をさせていただければと思っております。説明は以上です。
0:39:08	規制庁シミズですとか今の説明について規制庁側から特にございましたらお願いします。
0:39:18	原子力規制庁の河原崎です。
0:39:22	今御説明いただいたところでまあ何となくそういうことなのかなと。
0:39:27	思いつつ、拝見していたところではあるんですけども、一応念のため、
0:39:32	確認させていただきたいと思います。
0:39:37	今回はその外部衝撃とかの展開の仕方を
0:39:41	限られたということ。
0:39:43	ではあるんですけど、全体として言うと、この 13 ページのところでの
0:39:48	基本的にはそのSA設備の基本設計方針を
0:39:52	SA設備としてちゃんと価格でその上での
0:39:57	健全性説明書
0:39:59	健全性説明書からのリンクづけとしての
0:40:02	紐付けを行うと。それを行うとっているものは何かと言うと、
0:40:09	24 ページ。
0:40:13	24 ページに行っていたかと。
0:40:19	えっと外的事象というところでいろいろと記載されていて、

0:40:24	これでいろいろちょっとですね、ここの記載を見ると、風凍結高温運転の患者のうちの感知だと。
0:40:34	いろいろ書かれていて、丸々と書かれていて、で展開するものが示されているのかなという理解をしたんですけども、ちょっとこの等々のところも含めて確認させていただくと。
0:40:48	24 ページを見ると竜巻、風はそれに包含されてますよというところ、あと火山でこれは積雪もセットで考えますよというところ、あと外部火災、あとは溢水については別途添付において健全性説明書からひもづけを行い引用する形と、
0:41:06	いうことで理解したんですけど、ここまでのかやってるでしょうか。
0:41:10	介入ギリシャでございます。ありがとうございます。そういうことです。はい。規制とカワラサキです。さらに言うと、さっきの 13 ページのところでは、可搬の SA については、一部も動かされてるものがあると。
0:41:25	それは可搬内部火災だと傘の内部火災とあとは一定に推移するんだと私は理解したんですけど、それについては SA 設備の
0:41:36	中で別途項目出して、別途整理していくということを理解していいですかね。
0:41:44	場合に上にイシハラでございますありがとうございます私の記載が足りなかったじゃそかも遅いされた通りで、
0:41:52	可搬の火災の話と、火災防護の話と意見に切断しは健全性説明書の中で項目を立てて展開をしていくということになってございます。以上です。規制庁川崎です。何かそうすると若干ばっかそれにそごがない記載箇所だけやって / 22 ページのところ、
0:42:09	いっす生かさに対してってまとめられているんですけどこれは、
0:42:14	多分そういう趣旨ではないですよ。過半の火災はだから別途展開されているからここでは出てこないという理解でよろしいですか。
0:42:23	はい、いよぎん社でございますはい大変失礼いたしました。北のところに来ると溢水しか書いてないと入れてございまして、火災は書き過ぎです。以浅話だけを展開するということです。以上です。はい、規制庁川崎です。わかりました。それで、外部衝撃についてはちょっと展開。
0:42:41	何を展開してるんだっていうのがですね、ちょっと
0:42:44	一般論的に言うとういうことになるだろうっていうことなんですけども、基本的には評価であったりとか計算が必要なものだけ一応その添付でのリンクづけを行ってと設計方針とかだけで済む奴らっていうのは、健全性の説明書で終わらせていると。
0:42:59	いう基本的な考え方なのでしょうか。
0:43:03	はい。読みイシハラでございますおっしゃる通りでございます。計算に係るだけを展開をするということで、先ほどの計算に至る前の設計方針なりが全部健全性説明書に書くということが前提で整理をしますのは非常に計算を要しないものについてはすべて

0:43:20	健全性説明書の中に設計方針なりを全部展開をしていくと記載をしていくということで考えてございます。
0:43:27	規制庁川崎です。わかり難基本的には多分そういうことなんだろうと想像しつつ、ちょっとすいません。
0:43:35	本丸と言っていたところ以外ではあるんですが、例えば表のところでは最初の許可等の対応ということで整理されているんですけども、この下線を引いてあるやつっていうのはどういうことなんだろうっていうことなんですけども、例えば2ページとか、
0:43:52	どこでもいいんですけども、5ページとか見ると、波線で示されているところがあるかと思うんですけども。
0:43:59	ここは基本的には今おっしゃっていただいた添付での対応みたいなところで展開する候補なのかなと思いつつ、具体的にはすべて展開しているわけではなくて、そのうちのさっき言ったような考え方で必要な部分について、
0:44:16	変換しているということでもいいですかね。ちょっとこの波線のつけ方のルールなど教えていただければと思います。
0:44:25	今回、日本原燃しちゃうございます。
0:44:29	波旋回径のちょっとこれ例を引き継ぎできましますはい、おっしゃる通り計算とかで添付書類で立候補あるものが対象で書きたかったんですけどもこのMOXの巨大の展開の仕方強というように交渉に対する考慮っていうところでこういった外的であったりの
0:44:48	事象に対してはその健全性に係る条件について環境条件については環境条件がありますよとあって、結局はそっち側に展開されているので、ここで無理に波線を引く必要はなかったと思っています。言ったことは一期だ通りで、
0:45:05	結果的には強度計算に振り方で経験を展開する関係のほうで受けることを示したかったというのが結論でございます。以上です。
0:45:13	規制庁川崎です。はい、わかりました。そうすると落雷とか生物学的事象っていうのは、一応
0:45:24	私の理解ではその健全性説明書までの
0:45:28	話として、設計がもう訴えるよということでしょうか。
0:45:33	はい、表現に資料でございます 14 日に戻すべく今作ってますが別紙 4 っていう添付書類の中で、落雷とかの設計についてはすべて述べさせていただくということで整理をしたい、したいというふうに思っております。
0:45:47	普通長カワラサキですとかありました。
0:45:51	ちょっと基本的なところはもうこれで大体わかってきたような気もするんですけども、一応そこそのものをちょっと確認させていただきたいのが、
0:46:04	3 ページのところ、
0:46:08	下から四つ目に常設衛星の共通 4 故障への考慮というところ、

0:46:15	当溢水と火災に対するところについては特に河川とかしか書かれてないんですけども、この引かれてないところっていうのは、
0:46:24	特に
0:46:26	なんて言うんですよね。
0:46:27	展開がされないとかどこまでの展開が足りないということなのか、つまり共通要因故障への考慮という意味で言うと、Ss設備の条文対応としてはですね、位置的分散とかそういったものも含めての共通要因故障への配慮と設置場所とかの配慮っていうことも、
0:46:45	若干関わってくるかと思うんですけども、こういったところっていうのは特に健全性説明書との関係では展開されず、
0:46:54	だからそこは環境庁検討のところで対応できてればいいので全部引いていないだけでいいのかとかですね、ちょっと線が引いてないところの仕分けってのはどうなってるでしょうか。
0:47:07	はい、日本原燃西原でございます。こちらMOXの許可の内容をそのままトレースして書いてますが結局あの時も結局溢水とかに対してですね、設計基準事故対処設備等同時に機能喪失がしないように今日いながら位置的分散というは、
0:47:25	結局、時的分社云々は相手あまりないの点ですねMOXの場合は、健全性を確保すると、まずこの特徴も踏まえた上でこういう設計をしているので結果これで健全性説明書が健全性の設計方針については環境条件等に飛ばしますと、
0:47:42	環境条件が傷んでいくと、許可の見解をそのまま考えますと、ここはこの内容2. 移送するだけの設計方針を軽減説明書類改定内容の具体については、環境条件が同じ検討になりますが、環境条件が飛ばして、
0:48:01	それに対して健全性を確保する設計というのは具体的なんだっていうのを展開をしていくということで整理をしようかと思ってるんですけど、下線を引いてなかったということでございます注腸カワラサキです。
0:48:14	多分なんですけど、2ページの下に判例が書かれていて、一応その線の意味っていうのは、それぞれ説明はされているんですけども。
0:48:23	なんでこれ、ここは何で浅部しかなくていいんだらうっていうところがですね若干よくわからない部分もあったので、ちょっと今言ったような口頭の説明では理解しましたというところなんです。
0:48:38	ちょっとこの資料どの程度の
0:48:40	ブラッシュアップする必要がなかったのはちょっとよくわからないので、続けさせていただきたいと思いますが、
0:48:48	そういった意味で下線を引か民引いたりみたいところで、
0:48:52	何でここしかなくていいんだみたいな疑問も多分結構気はしています。
0:48:59	そう例で例えば4ページのところで、

0:49:04	うん。上から二つ目のところで可搬型の保管場所の件が書かれてますけれども、
0:49:12	これは
0:49:14	どういった事項について、展開する必要があるのかって言うのをちょっと御説明いただけませんか。
0:49:28	すいません日本原電 2 社でございます。4 ページ通しまして 4 ページの上から二つ目です。
0:49:33	上から二つ目が、
0:49:43	上下でイシハラでございます。ですね、あれおり終わりなのか、これいらぬすね起こすかで引き継いでですねこれは規制庁からちょっとそういうの方のルールが若干
0:49:58	なんか常設と可搬であれこれ整合とれているのかなみたいところが若干あったりするんで、ちょっと
0:50:04	日程置いて結果には影響なさそうな気もするんですが、見ておいていただければと思います。あと終わっているならば上から四つ目の屋外の可搬については、これは屋外の可搬っていうと、
0:50:21	何となくMOXのイメージがあんまりなくて再処理でいうと、
0:50:25	多分ポンプとか可搬型発電機とか、そういったものをだっとは思いますが、別途、これ。
0:50:33	21 ページをですね、に行くんですね。
0:50:36	ちょっといろいろ飛んでしまっって申し訳ないんですが、
0:50:42	これ 21 ページを見に行くと、これ 21 ページが多分屋外の可搬のページなんですよね。それで見に行くと竜巻と加西あちらの竜巻と考えか。
0:50:56	何か書かれているといったところなんですけれども、その他の街部衝撃についてはどのように整理されたことは特に記載されていないような気もするんですけど、ここはどうなってるんでしょうか。
0:51:09	場合にギリシャでございます。こちらの方すいません整理がうまくなくて恐縮でございますこちらエンブラ計算とかで飛ばさないものについては、先ほど波線との関係がうまく整理できてないだけだと思いますが、書くべきことは健全性説明書かですべて書くというのが好き則は同じでございます。
0:51:29	すべてをカワラサキそうすると列島積雪でこれはどちらかという再処理の人に聞いたほうがいいような気がするんですけど、積雪であつたりとか火山であつたりとか外部火災についても、これは展開されてくるということなんか、それとも、あえて違いも来てるのかいかがですか。
0:51:52	また、
0:51:53	はい、与儀西原でございます。私が具体的になるかもしれないんだ注いでボックスで持っている可搬の外国概略的は再処理と共用してやつがほとんどだとかも全部ですかね。なので、

0:52:07	屋外の可搬は別途、ただ、
0:52:12	確か許可ん時の整理も屋内の鋼板屋外の可搬あり、
0:52:19	それぞれ収納する保管場所の話を生懸命言っているのが可搬のメインの話でありまして、そういう意味ではそうですね、積雪、火山の影響については21ページにあるものをちゃんと展開を私がしてないのが結論な気がするので、
0:52:36	これは待たされるごとくづけですね、11ページの一番下側のポツ、これを展開すると同じようにどう書くんだという整理をしなきゃいけないと思いますので、とはいえ、これを政務日変わったのは、すみません当時考えたのは、
0:52:55	積雪荷重を考慮し、積載荷重を考慮し、助勢通常化をするということを屋内に配備するということだけが設計方針でこれ強度計算に振ることがあったしかなかったの、線を引かなかったという整理だと思います。以上です。
0:53:10	規制庁川崎です。多分そういうこともあるのかなとは思ってまして、例えば可搬型発電機だと
0:53:18	そういった状態とかっていったことを考慮して何か場所を移動させたりとか何かそういったところもセットで説明されていた上での実際そのじゃ評価とか必要ですかという話に繋がってきていたはずなので、
0:53:33	ただそういったところをきちんとせっかく許可を引っ張ってきて線ひいていただいているのに、何か代替で選出しましたので、これで燃えてませんということだと今言ったようなことを疑問にですねこたえられる形にはなっていないような気がしていつて抜けてるのかなとかかって思われちゃうとあれだと思いますので、
0:53:50	そこはきちんと当然原燃としては、これはこうこういう理由で、ちゃんと許可との対応で確認できているので、これは展開不要だったんですっていうことが御説明いただきましたかったことなのかなと思います。
0:54:06	はい。以上です。
0:54:09	はい。ギリシャでございますはい、恐縮でございますありがとうございます。そういった点ちゃんとこれから説明できるような整理をしていきたいと思えます。はい、規制庁からです多分そういう整理があった上でのこれはあくまで説明のための資料ということで、結論としては多分その具体的な共通の00
0:54:28	いや健全性説明書の中での示し方って、確認ができるとは思ってるので。それはそれでまあ今後確認させていただくとは思ってます。
0:54:39	ちょっと話が若干上がってきたの、ほかの方が盛り込んでいただいてもいいんですけども、4ページの
0:54:50	上から四つめの屋外の可搬
0:54:54	以浅設備の転倒防止っていうのがありますけれども、これについては、ちょっと展開の仕方を確認したいんですけども、一応その可搬不正の転倒防止っていうと、

0:55:08	地震、加振試験じゃない地震としてはいっぺんに生成相当ということで考慮していると思うんですけども、こちら辺の別途記載の仕方っていうのは何かこの評価とか、どこかしらで展開されるのかそれとも
0:55:25	そこまで記載としてはですね、SA設備の中で、
0:55:30	今後展開されていくのかとか、ちょっとこちら辺の
0:55:34	方針をお聞かせいただけますか。
0:55:45	耐要件 2 社でございますとまだ整理が十分できていないというのは正直なところなんですけど今回の第 1 回の対象がなかったのも、基本的にはを加振し家庭からどういった条件に対して検討しないことを設計条件にするかということは、あと固縛をするのかという。
0:56:05	設計方針自体は当然耐震計算の前に重大事故側でちゃんと展開をします。具体の
0:56:15	荷重景観地震力に対して持つ持たないでは検討しないということの個別の評価については確か計算書は耐震側に飛ばしてこちらで展開をしていくということで整理していたと思ってました。以上です。規制庁川崎だから特にその 1.2S sだから、その設計が
0:56:32	別途展開されるということではなくて、あくまでその耐震の中での説明で、
0:56:40	という
0:56:41	理解をしましたが、いかがでしょうか。
0:56:46	はいよギリシャでございます。今おっしゃっていただいた通りの整理でございます。
0:56:52	規制庁川崎でちょっと若干私の理解もふわっとしてるところがあるかもしれないので、ちょっと今後きちっと適切な場所で御説明いただければと思っています。
0:57:01	ちょっともう 1 点私からの質問としてはですね。
0:57:04	悪意 P6 の悪影響防止の一番下の竜巻に対する固縛っていうのがありますけども、これって今回、今回 7 日時間なのかわからないんですけど。
0:57:15	固縛っていうのは何か固縛装置みたいなやつで評価結果をなんか別途こういうふうに展開しますみたいなところがあるんでしょうかそれとも
0:57:24	特段そういったところではなくて、データ具体の笠名細かな評価結果などかっていうのは特に示されないのでちょっとそういう
0:57:34	前回のイメージをお聞かせください。
0:57:38	はいよギリシャでございますおっしゃっていただいたように今回ちょっと申請としては対象ありませんが、今考えてましたのは、
0:57:48	固縛に対する強度計算をした上での評価ですね風荷重とかに対しても、その固縛がもちますよといった評価をその考え方は健全性説明書しながら、その評価そのものは、

0:58:04	竜巻側の添付書類の重大事故たい設備の果樹となんだけど細かくの計算で すかね、そちらのほうに紐づけをして、そちらで評価の結果なり考え方なりを 示させていただくということで考えておりました。
0:58:23	そういうことが、
0:58:28	だから、そういう意味で言うと6ページのところからも、その点、
0:58:32	回答という
0:58:35	意味では何かこういうそのピックアップされてくる。
0:58:38	ということは到底やられるということですか。
0:58:44	そうですね。日本原燃者でございますそういう意味ではやっぱそれそのリン クもちゃんと整理をしてと同じようなリンクを張らないといけません、そこで ちょっともうちょっと整理をさせていただいて、結局0シミズにちゃんと抜けがな く展開すべきことが展開できると。
0:59:01	いう整理をしてこう示しをすることになると思いますけども今回の別紙4の、あ くまで今回の申請の範囲の話だけになりますので、第2回以降になると思い ますがその中を展開してお示しを示しをしていくということになると思います。 以上です。
0:59:17	規制庁、川らしいです。今、
0:59:20	内ということはあるつつ、多分この出発地点のところである程度示すっていう目 的で多分これは作られてると思うので、これのリバイスなりリバイスとして多分行 うのかなと思います。私からは、
0:59:36	そんなところで、以上です。
0:59:41	町のタジリです。説明は担当の小疇加速器細か目な話も含めて話いろいろあ ったんですけど、どうお考えだけ頭整理していきたいんですけど、多分大きく本 文と添付の話があって、まだ今後の話が加力流れといったんですけど、要は 今まで、外部事象のところの一部書きますよとか言ってたところ、
1:00:01	ほぼなくなって、SA設備のこれはある程度意識海底で昔から許可のタイミン グから、
1:00:07	他の条文に書いてあって当然そのまま行きますよっていう整理をしたというの まで本文として一番大きなところですかね。
1:00:13	はい、人間にイシハラでございますまとめていただいたらいいかと思います本 部としてはそういう今おっしゃっていただいておりますについてでございます。
1:00:21	影響度です本部の話なんですけど多分今後00cでは示されるんでそのタイ ミングHお話だとは思ってるんですけど、要は今まで荷重条件の設定に関して は保管とほぼその他のところに飛ばしたいんですみたいな話が言われた形に なってると思うので、今後成績のテルル示される時とか、Bはここで許可のや つをそのまま戻してくれば読めるんで。

1:00:41	このまま行くことにしたんですっていうところをあわせて説明してもらったらする基本的大きな話通じていくのかなと思ってるんでそういった点の説明があると思っいいですかね。
1:00:49	はい、日本原燃西原でございます。そうですねあのSAの話を説明する際に受けを設計方針の許可との比臨港示した上で、そういったようなちゃんと示すべきことが示されてますという整理を説明させていただくということは必要だと思っってます。
1:01:06	規制庁田尻です。今日の時点の資料だと要は許可の通りいきますよとだけ言われた形になっているのでそれで足りる足りねえな話にはまだ踏み込めてないと思っっているんでそういったところも含め踏まえた上で今後 00 説明していただきたいということを添付のほうの話は、具体的話に関してはカワラサキ。
1:01:22	売却話はあったところなんですけど、結局のところは健全性説明書であれば他のとこ説明して共同計算とか影響評価のところに関しては意味のほうで評価する条件まで客だけ本部の整理の絡みもちょっと出てくるかなと思っってるんですけど。
1:01:37	自然現象の規模だとかそういったところで割り引通じるものがあると思うので、そういったところの教育計算は有りベース一連で示すからそこところへ記録に含まれてきますよとかそういう話ですかね。
1:01:48	はい、日本原燃西原でございますが、今おっしゃっていただいた通りでございます添付書類がそういう整理をさせていただきたいということでございました。
1:01:56	規制庁たり率で多分わからない話でそこところの中でPARだけが少しそれぞれ離れた浪江の話とか結局どこにどういうふうに展開したのか可搬常設いろいろあるとは思っんですけどそういうところの整理っていうのが個別個別に今後説明されていくんで、このペーパーの形かわからないんですけど、当然そういった考え方っていうのはどっかで示されて
1:02:15	このからパークの資料になる最後附属資料では整理していくのかっていうところもあるので、不確かさとかともかくとして整理した形でいずれ示されていくと思っっておけばいいですかね。
1:02:25	はい、日本ギリシャでございます。そういうことをさせていただければいけないと思ってました。以上です。
1:02:32	健聴対立ペース認識わかりましたここ示されている具体的話があるということて理解しました。以上です。
1:02:41	規制庁中です。
1:02:43	コメントを少し重なるようなところもあるんですけど、本部は本部で、ちょっとこの資料見ただけでどういう扱いにするのかというのはよくわからなかったところはあるんですけども、それは今後その具体的の中でPadBSSでこう分けるような感じで書いていくというところて確認をしていくというところは理解して、
1:03:05	また店頭のところてですねその 2 ページ目のですね

1:03:11	何か言ったイメージは大体私も何となくわかるんですけど。
1:03:15	結論も何となくわかるんですけど、多分2ページ目で輸送波せんのですね、この詳細設計に係る事項があった条文に関連するものといった場合の詳細設計に係るっちゃうか何を示してるのかというところが、
1:03:32	あんまり書かれてないんですね。だからここは駄目線引くか引かないとかなんかそうスピードがわかりづらいところがあって、この資料もそんなにその訂正があればこの表で終わりかと思いつつ、何か良いと再訂正をして考え方をまた何か示すということであればですね、この
1:03:51	詳細設計に係るっていうのは具体的に何かっていうところを明確にしたほうがいいかお互いに誤解がないのかと思うんですけど口頭で1 幾らか説明していただいたところで、
1:04:02	何となく理解が深まったんですが、ある程度ちゃんとこう書き表せない、
1:04:08	をしておかないとお互い今後誤解が生じるのかなというふうに考えていてこ明確にしてはどうかというふうに思うんですがいかがでしょうか。
1:04:24	タイプ4にシェアでございます個別の整理を整理をこの方針を反映した結果については0 資料の中で展開をさせていただくということが当然前提ではあるんですけども、カワラサキさんからもご指摘あった通りあと課税さんからもお話があった、いずれはこういう整理が前提で、
1:04:44	ちょっとそういうことをお示しするようなものがどっかに入っていないとですね、別紙シリーズのそれぞれの基本設計方針な意見商品の構成っていうのはこれでいいのかということになる。繋がらないので、ちょっとこれ、どういう形にするかはちょっと考えた上で早急にそういったことを明示して
1:05:02	誤解がないような記載かつ間違いがないような記載で制裁整流した整理をした上で、資料2 どちら展開をしていきたいと思えますその形で、
1:05:13	決めたら、資料を提出させていただくということで対応させていただければと思います。以上です。
1:05:21	はい、規制庁中です。せっかくこういう議論をしてですねある程度こう理解も深まったということもあったのでまあまあそういうものはちゃんと結果としてですね、ある程度オーソライズしたほうがいいかというところで、どこにおさらいするかというところはまた検討いただくということではありますけども、一つは
1:05:39	表の共通でもですねそういうところで反映できるものがあれば反映していただければいいかと思えますし、また個別に説明できるものは個別でそういうところをですね、しっかりと説明していただければと思います。以上です。
1:06:01	コサクですね、
1:06:04	ちょっと途中から入ったので、十分理解できてないかもしれないんですけど。
1:06:11	この資料って何のために作ったんですかってのは、結局よくわからなくて、
1:06:19	ある程度のサマリーをタジリがしてその上で、今後何かアウトプットみたいなところナカガワかなということだったかなと思うんですけど、その際に結局、

1:06:34	話をした結果として何が何を整理したかったのっていうそのポイントをですね、明確にしないと、次に何らか整理をしてっていうのを整理の方向性がまた違っちゃうと、今日と同じような感じになっちゃうかなと思うんですが、
1:06:51	この
1:06:53	実線波線 8000 っていうのが大事っていうわけじゃ多分ないような気がするんですよ。
1:07:00	話し合ったように南線のところが、何が言いたかったのかっていうところのポイントははっきりするといいいのかなと思うんですけど。
1:07:10	それで最終的には 00 シリーズでっていう話で言うそうですね。
1:07:14	別紙C-2 の段階ですでに要求種別と見解事項で、添付書類の校正説明内容と、
1:07:24	いうものは書く形になっていて、
1:07:28	結局その何らかのエッセンスを示したかったんじゃないのかなっていう気がしたんですけどどうですかね。
1:07:36	はい。ゆえにシェアでございます。おっしゃっていただいたり脳で仕入れ整理をする方添付での展開の仕方の整理設計をして義務づけですね。ていうのを展開S整理をする上でちょっと謝罪も含めて、
1:07:53	方針があった上で見解をするということで、その頭になる部分を作らせていただいたとか、これ自体を跨ぐヒアリングで御説明するというのは、これをチャネル状と議論した上で、別紙に反映してその結果をお示するという方向も賜ったと思うんですけどすみません
1:08:10	日本らステップかもしれませんけどステップを踏まさせていただいたということでした。
1:08:15	コサクです余分なステップだと思ってないんですけど、別紙になりまでシミズ二の次には別紙 3 があってっていうときに、要求種別で評価要求であれば評価が当然必要になって、
1:08:31	添付書類の強度計算、耐震計算。
1:08:35	個別の性能の計算と、
1:08:37	設定根拠ですかねっていうところに繋がってくる項目ですとなれば、添付書類どこですかになるし、そうじゃなくて、運用に係る方針ですという。
1:08:49	分類になるのであれば、
1:08:52	ここで言うと、重大事故の健全性な所の方針のところが終わるということだしということ色づけおのずとされると思うんですけど。
1:09:06	その分類額をちょっと整理してみましたっていうことなんじゃないかなと思ったんですが、それをそういう用語でちゃんと整理をしないから何をやってることはわからないと。
1:09:17	ということだったような気がするんですけどいかがでしょうか。
1:09:21	はい。いうギリシャでございますおっしゃっていただいた通りだと思います

1:09:26	頭の中でお考えながらかどっか見にうまく落とせてなかったのかなと思ってますおっしゃると先ほど山崎さんからいろいろ御質疑いただきいけてこれら耳栓つけないよって、整定南線つけなかったのはという要求で健全性説明書でフィックスしてしまうものはほかに鳥羽層の内部でそこでこのずっと
1:09:45	計算が必要であるといったものはその計算はどここの店舗でやるんだということで、そのほかの条文見解が必要ですよと言って義務づけをしていくということを整理をしたかったということで、そういったことがちゃんと
1:10:00	頭の中でちゃんと考えていることがびっくりしてなかったのかなと思ってます。以上です。
1:10:06	はい。特に可搬のSA設備の耐震に関係するようなやつは、他条文に関係しないんですよ。
1:10:16	ですけど、耐震計算書に入れたい。
1:10:20	ていものなので他条文とってというような言い方をしている限りはうまくまとまらないんですね。
1:10:26	なので、先ほど言ったように評価項目なのかなとかってそれをどこに持っていくのかっていうのを純粹に整理をしていった方がわかりやすいと思いますし、体系としての整理もしやすいということだと思うので、別紙2でそこら辺がわかるように変えていくっていうのは最初アウトプットと思いますが、
1:10:45	せつかくこういうようなステップを踏んでるんであれば、別紙2をつくり込むにあたって、こういうものかどうかを整理をしましょうねとこういうものについてはこういう対応をしましょうねっていう対処方針的なデモとして作り込んでいただいた理解がしやすいとかなと。
1:11:04	思います。そのときには、我々の提示っていう意味では別紙2の添付なりですね、参考という形でつけて告知はこういう頑張って作り込んでますっていう説明をしていただければ、資料としても理解のできる
1:11:19	構成で出せるんじゃないかなというふうに思います。以上です。
1:11:25	はい、有限に者でございます。ご指摘ありがとうございます。ちょっとそういう形も含めて考え検討して整理をしていきたいと思えます。ありがとうございます。
1:11:35	。
1:11:39	コサクです。で、その上でなんですけど、途中でイシハラさんも言っていましたけど、ほぼ再処理についての話だったんですが、イシハラさんがしゃべってるってしゃべっていいのかなっていながらしゃべってるっていうこの状況は一体、
1:11:54	どうもすればいいんでしょうか。誰に聞けばいいか。藤野さんだれがいいかを示して対応してください。
1:12:02	はい。最初稟議書です一応ジャパンいろいろ作ってくれて説明していただいているんですが再処理場も寄与しながら医者さんみたいにすべてに精通してるわけじゃないので許認可の部分はシミズだったり、

1:12:18	解消については今クリアしてますので、その辺りの協調しながらですね今対応のほうを進めているというようなところです。でも再処理に関する質問橋梁あれば、解消の中身であればエビナのほうで対応で許認可のなったようであればシミズ上対応という形で、
1:12:34	整理していきたいと思います。だとする。
1:12:37	不動産申し訳ないけど。
1:12:40	過温そう言ってやってるから、今日のヒアリングについて誰が責任を持って求めるのか、誰が対応するのかっていうのを明確になってなくて結局イシハラさんがフォローしてくれるっていうあまりた状態に
1:12:55	なって続けちゃってるんじゃないんですか。
1:12:58	4Bの扶助ですはい。そういうところはあるかもしれません。少しでもはい。
1:13:04	タジリ側でしっかり整備できるように、
1:13:06	対応していきたいと思います。
1:13:09	はい、コサクです。
1:13:12	なんですかね。
1:13:14	当然、
1:13:15	再処理MOX連携してやってもらわなきゃいけないので、独自にそれぞれ検討するって言う必要はないんですけど、最初としても、イシハラさんと話をして最初として工事じゃあ一緒にこうやっていきましょうねと。
1:13:28	いうふうに合意をし、再処理のそれぞれの担当と話をするという要因は作っってもらわないとイシハラさんも困るし、再処理の各現場の人も困るんだと思うんです。
1:13:43	体育館寒い中で一生懸命頑張っておられるんだと思うんですけど。
1:13:48	そういった方向性が見えないで作業すると非常にメンタル的に厳しいんじゃないかなと思っていてですね。
1:13:54	余計なお世話かもしれませんが、そこら辺をしっかりとやらしてもらわないと受ける我々も困るのでよろしくお願いします。
1:14:02	はい、読売の平井です。はい、今のコメントを踏まえて、配慮していきたいと思います。
1:14:17	今日示す他規制庁側から何か確認事項ございますでしょうか。
1:14:26	はい。
1:14:28	健聴シミズないようでしたら、島全体を通して規制庁側から人事項または原燃側から何か確認事項がございますでしょうか。
1:14:39	規制庁オオオカですと、よろしいでしょうか。
1:14:42	ちょっと今回の案件とちょっとずれているというか 25 ページ目に参考として添付書類の構成を変えていただいているんですね。
1:14:54	ちょっとその部分。
1:14:56	ちょっとうかがわせていただきたいことがありまして、

1:14:59	すみませんちょっとメインじゃないかもしれないんですが、外部火災だけ竜巻とか火山の構成がちょっと違っていただければ電力次長のもとも少し違ってはいるんですが、その辺も考えてまわしていただきます。
1:15:15	はい、日本原燃西原でございます。おっしゃってる通りほとんど電力さんの構成と合わせましたんですが、これちょっとすみません
1:15:28	私からいま一度 1-1-4-3 と書いているところが評価の基本方針等をもともと評価方針という別々の鉄塔が発電炉のほうはあって且つ温度の設定根拠というのがまた同じつられ並んで、
1:15:45	三つぐらい別途添付書類が高中に展開をされていたのが発電炉の形式だと思ってます。評価の基本方針と言ったものと評価方針と言った添付書類がですね中身はほとんど変わらないと、これえっと比較を見ていったんですけど、それぞれ別々にある。
1:16:05	いう必要性訪問を我々として認識できてなくてですね、全体の構成でなるべくただとはいえ、大場さん言われたのと逆になって恐縮ですけど誰べく、他も外部衝撃等宴会の仕方をするようにした上でとはいえ一部で特徴を踏まえてと。
1:16:25	というのが今の外部火災の構成のご提案している項目になります。以上です。
1:16:33	はい、規制庁仮設私も大体そういうふうになってるなどは思って確かに実用炉のほうも同じことなのか書いてたりしており化するんであればそういう方針かなと考えていたんですが、もう少しほかの解消ともあわせて少しスマートフォン
1:16:50	基本方針会長施設で設計方針、評価方針評価結果みたいな部構成。
1:16:57	ほかのところになってますんでそこまで合わせ込んでもいいのかなっていう
1:17:03	考えもありましてちょっとまたもしちょっと今書きづらいようでしたらそういうふう
1:17:14	はい、日本原燃シェアでございます。はい、オオオカさんのおっしゃっていただいたんだと私が作った&一番当初だって言ったりですね、ちょっといろいろありましてこの形になってますけど、本当は丸々あわせた合わせに行きたかったところですけどちょっといろいろありまして今の形になってます。
1:17:31	ちょっと検討した上で、よりよい形にしていきたいと思います。何度も同じことを書きたくないので、そこはテンプレとしての構成をよく考えてあげるということで整理させていただければと思います。以上です。
1:17:44	規制庁かですねよろしく申し上げます。私からは以上です。
1:17:53	危険じゃシミズ／切っちょう側から全体を通して何か確認ございますでしょうか。
1:18:05	規制庁清水です。当減免側から等全体を通して何か確認事項もございますでしょうか。
1:18:14	日本原燃おられます特段ございません。ちょっと先ほどの重大事故関係の整理については、この

1:18:24	持ち帰り検討した上で、最初にお話をしてちょっと14日のスケジュールをどうするかも含めて、私としては検討したいと思いますが、おそらく怒られると思うので14日に出すと思いますが、以上です。
1:18:41	シミズですが承知しました通り、それではこれで本日のヒアリングを終了したいと思いますので、
1:18:50	思います等録音の停止をお願いします。